

別添

ウラン鉱床に比較的近い地域及び地質が類似している地域における
地質状況について(平成30年度調査分)

令和元(2019)年6月

東海旅客鉄道株式会社

(1)目的

(2)地質調査実施箇所

- ・全体図

(3)結果

- ・ボーリング柱状図

(1) 目的

本書は、岐阜県内の中央新幹線計画路線上において、当社が実施した地質調査等の内、ウラン鉱床に比較的近い地域及び地質が類似している地域において、トンネル前方地質の把握のために実施したものである。

(2) 地質調査実施箇所

平成30年度は、ウラン鉱床に比較的近い地域及び地質が類似している地域においては、地表からの鉛直ボーリングは実施していない。一方、トンネル掘削を実施しており、掘削箇所の地質把握のため、トンネル坑内より水平ボーリングを実施した。

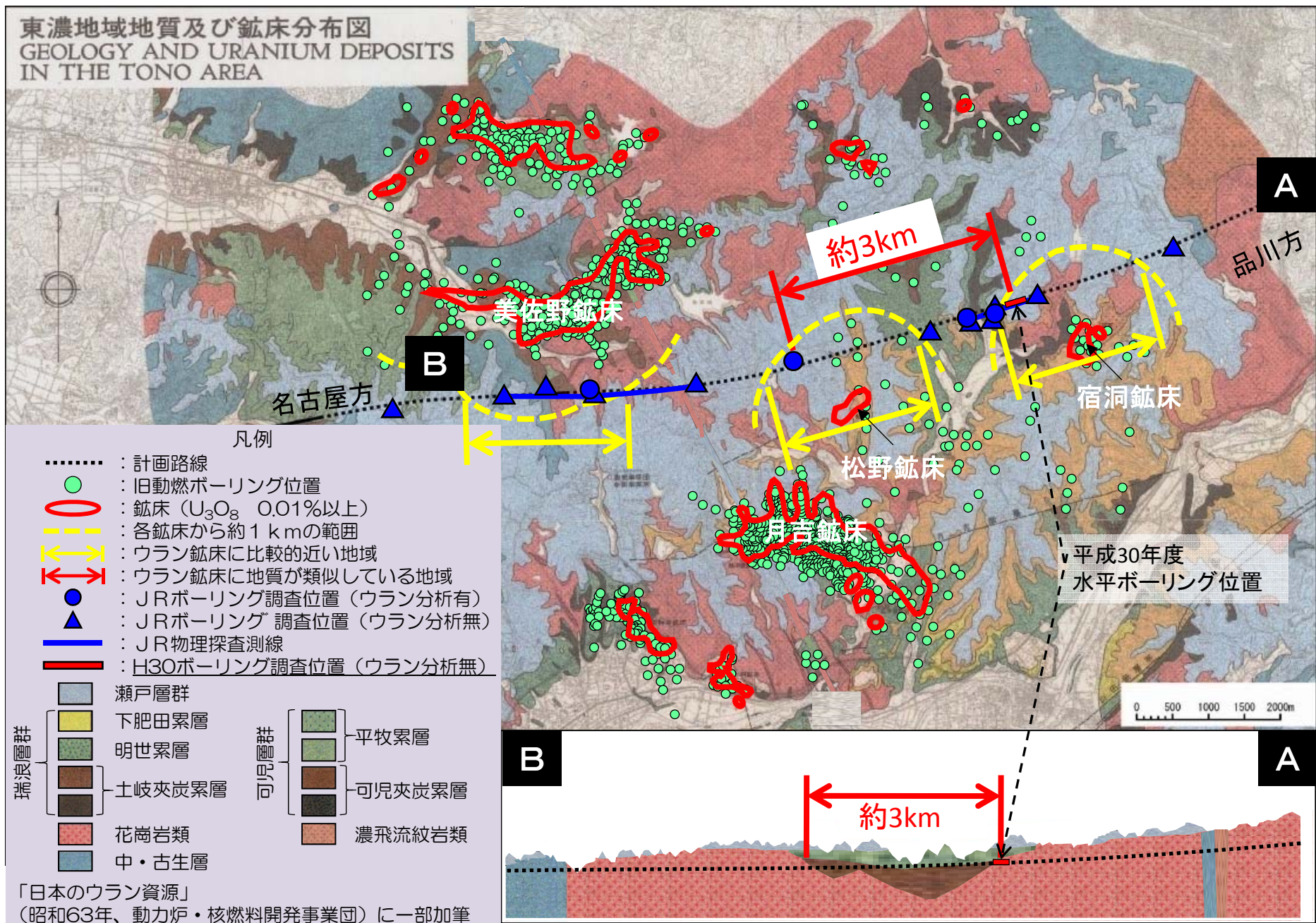
(3) 結果

水平ボーリングは本坑内より西側へ向かって、239K200m～239K350mにおいて実施した。

結果は、ボーリング柱状図に示す通り、ボーリング延長124m～127m付近(239K324m～239K327m付近)に花崗岩と花崗岩上部に堆積した瑞浪層群土岐夾炭累層との境界が確認された。

今回花崗岩と瑞浪層群の境界確認された239K327m付近は、「岐阜県内月吉鉱床北側3km区間における発生土の管理示方書(平成28年9月岐阜県報告資料)」作成時に想定した位置とほぼ同程度の位置であった。

地質調査実施箇所【全体図】



ボーリング柱状図

調査位置	①岐阜県瑞浪市日吉トンネル内				
孔口標高	248.545m	総掘進長	150.0m	掘削始点	239K200m付近

